



No.44

2024 (令和6)年3月

鳥取市立 中ノ郷地区公民館

〒680-0003 鳥取市覚寺118

TEL(0857)21-5393

<http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nakago-1/>

R5.12.31現在 世帯数1,504 人口3,738 鳥取市HPより



中ノ郷地区公民館三十周年を迎えて

公民館長 矢部 敏昭

現在の中ノ郷地区公民館がどのような時期に、いかに様々な活動が生み出されたか、発足当時からおよそ十年間の公民館報をもとに振り返ってみます。

一九九五年四月、鳥取市の三十二番目の公民館として、中ノ郷小学校の開校に伴い、発足しました。当時は、鳥取県住宅供給公社の北園事務所を仮の公民館として活動が始まりました。一九九六年二月に「公民館まつり」として、中ノ郷小学校の校舎を中心会場として開かれました。

一九九九年七月十一日、中ノ郷地区公民館が四年の歳月を経て完成しました。初代公民館長 田中一朗氏の大変なご苦労を、当時の館報から読み取ることができます。また、この経緯においては、地区自治会による市への陳情をはじめ、多くの方々の努力があったことを知ります。

二〇〇〇年四月、第二代公民館長として福本幹久氏が就任され、国の補助を受けて「婦人学級」を開設するとともに、現在も引き継がれている「子どもと大人のふれあい事業」、及び「次世代を担う人づくり事業」は二〇〇二年から始められました。

二〇〇四年、公民館設立十周年を迎えて、館報の中で述べられている次の一説から、当時の状況が読み取れます。『この地域には誇り得る自然・文化があり、オンラインワンの活動こそ重視しなければなりません。その原動力は、何と言ってもボランティアによる活動です。』また、地域の特

色を生かして、二〇〇五年には「教養大衆」が開講されました。さらに、二〇〇九年には地区住民による住民主体のまつりとする意図から「公民館まつり」は、「中ノ郷まつり」に名称が改められました。

ここまで過去を振り返ってきましたが、年間を通してすべての公民館事業は、地区住民の皆様との協働によって成り立ってきたことが分かります。そして、それぞれの事業は改善しつつも時代を超えて続けることに一つの意義があると考えます。それは、一つひとつの事業の大切さに増して、それぞれの事業の先には、人づくり・ふるさとづくりという世代を超えた人と人との繋がりが必要だからです。そして、その中で誰もが楽しんで事業に参加する姿が地区の子ども達を育み、人づくり・ふるさとづくりに繋がっていくと思われまます。人間の関係性は、人と人が関わる中でのみ築かれるものだからでありましよう。

中ノ郷地区の皆様が誰かがふるさとづくりのために、世代を超えて事業に参加されることをお願い申し上げます。



カトレア
霜村 文一さん

緑風

平成七年四月、中ノ郷小学校の開校と共に、中ノ郷地区自治会、地区公民館が設立された。当時、初めての地区運動会、納涼祭、公民館まつり、開校記念式典、敬老会など、地域の行事や催し物が次々に行われた。どれも、学校、自治会、公民館、PTAが一体となって活動内容を検討し、実施していったように記憶している。集まった皆さんは、住みやすく、明るく活力ある地域を作っていこうと一致団結して事に当たった。運動会では、入退場門作りやその設置、グラウンドの整備、万国旗の制作と飾り付けなどを住民総出で行った。また、公民館まつりでは、麒麟獅子舞や子どもさいとりさしの指導、作品の展示など、多くの方が協力してくださった。

中ノ郷小学校にも、季節の花を届けてくださったり、子どもたちのために校歌の制定や校地整備等をボランティアで協力してくださったりした。住民の皆さんが地域作りに関わることで、地域の活力が拡大していったように思う。

人のつながりが薄れてきていると言われる昨今、多くの方が地域の行事や催し物に参加し、協力を助け合いによって中ノ郷地区を安全で、明るく、住みやすい地域にしていこうという思いでつながる。そうした活力ある中ノ郷地区になるようにと願う次第である。

山

特色ある公民館活動事業

ふるさと教養大楽

ふるさと鳥取や近隣の特色ある自然、文化、歴史など地域の良さを生かした様々な取り組みを学ぶ。そして、地域に対する理解を深めると共に、地域を愛し、地域に誇りを持つ心情を高める。

4月6日	岡山 長島愛生園・長船刀剣博物館・津山城鶴山公園
5月15日	地域の歴史を学ぶ「摩尼寺 奥の院」
5月24日	古都京都を訪ねて
7月6日	海と陸から見る山陰海岸ジオパーク
11月29日	祐生出会の館と花回廊イルミネーション
12月20日	年忘れコンサート
2月	鳥取県立博物館「根本幽峨」・県警本部・豆乳工場見学



長島愛生園



地域の歴史



京都



山陰海岸ジオパーク



祐生出会の館



年忘れコンサート

子どもと大人のふれあい事業

異世代交流事業

各種団体との連携を図りながら、地域の子どものと大人の交流を目的としたさまざまな体験活動を行うことにより、地域の異世代間のふれあいを深める。

4月17日	ダンスに挑戦
5月1日	ふれあいグラウンドゴルフ
6月15日	ものづくり教室①「絵手紙体験」
7月22日	ラジオ体操・地域奉仕活動
7月22日	ものづくり教室②「陶芸体験」
8月9日	現地学習会「県立博物館&とりぎん文化会館」
10月14日	公民館花いっぱい活動
10月21日	ものづくり教室③「プラバンでキーホルダーづくり」
10月27日	歴史講座(会場:中ノ郷小学校)5年「鳥取城」、6年「吉川経家」
11月2日	ものづくり教室④「ポンポン船づくり」
11月12日	もちつき体験
12月23日	よみきかせ&クリスマス会
2月3日	親子でバレンタインづくり



ダンスに挑戦



ふれあいグラウンドゴルフ



絵手紙体験



ラジオ体操・地域奉仕活動



陶芸体験



公民館花いっぱい活動



現地学習会



歴史講座



ポンポン船づくり



もちつき体験



よみきかせ&クリスマス会

地域の仲間づくり事業

教養講座

環境問題、高齢者問題、健康福祉など地域が抱えるさまざまな問題について研修を深め、教養を高め解決の糸口をつかんだりする。一緒に学ぶことで仲間とのつながりを広げ、深める。

4月10日	洋ラン“パフィオペディラム”を育てよう	
5月17日	春を彩る寄せ植え	
5月29日	救急救命・AED講習会	
6月4日	DIY教室	
6月8日	剪定教室	
7月7日	曲げわっぱづくり	
8月24日	ミニ畳づくり	
8月29日	eスポーツ体験	
9月28日	[地域の人材活用] アートクレイシルバー教室	
9月25日 5 10月6日	戯曲の講座 “演劇の魅力に会おう!②”	
10月15日	中ノ郷ウォーキング(摩尼寺・立岩)	
10月16日	因州和紙で干支づくり	
11月8日	ボウリング体験	
11月13日	おせちづくり	
12月11日	スマホ教室①基礎編 スマホ教室②活用編	
11月22日	曲げわっぱのお弁当づくり	
12月23日	魚のさばき方教室	
12月22日	ミニ門松づくり	
1月15日	新春演奏会(琴・尺八)	
2月	かきもちづくり	
2月21日	簡単!味噌づくり	
3月1日	川柳教室	



救急救命・AED講習会



洋ラン“パフィオペディラム”を育てよう



DIY教室



剪定教室



演劇の魅力に会おう!②



中ノ郷ウォーキング



ボウリング体験



魚のさばき方教室



曲げわっぱづくり



新春演奏会



ミニ畳づくり



因州和紙で干支づくり

人権啓発推進事業

障がい者差別、男女差別、人種差別など身近な生活の中にあるさまざまな人権問題について研修を深め、人権意識の高揚を図る。

4月22日	あいサポーター研修会
6月21日	七代目桂小文吾 人権落語会
12月19日	国際交流事業 “韓国の食文化を学ぶ”



あいサポーター研修会



人権落語会



韓国の食文化を学ぶ



参加者の声

教養大衆

〈祐生出会いの館・花回廊〉

- ・祐生出会いの館は素晴らしかったです。
- ・花回廊のイルミネーションが綺麗で感動しました。個人ではなかなか夜間に行くことができないのでとても良かったです。



地域の仲間づくり

〈魚のさばき〉

- ・赤がれいの子まぶりは初めて作り感動でした。
- ・家でも作ってみたいと思います。
- ・魚のさばき方のコツを教えてくださいいただき、家での調理の参考になりました。



異世代交流

〈ボンボン船づくり〉

- ・舵を作ると進みやすく、底をなめらかに削ると進むということが分かりました。
- ・ローソクとパイプの間が近いと、早く進むことが分かりました。
- ・家に帰って早くしたいです。楽しかったです。



人権教育推進事業

〈キムチづくり〉

- ・ゆで豚とキムチをいっしょに食べると、キムチだけの味わいと違ってまろやかになり、おいしくいただきました。
- ・調理実習、いろいろな講座があれば参加したいと思います。



ミニギャラリー

今年度は、コロナ禍前と同じくらい公民館の行事・講座・サークル活動にたくさんの方の参加があり、生き生きと楽しまれ、公民館に活気ももどってきました。この館報をこらになって、来年度も多くの方が公民館に集い、地域の絆がますます深まっていくといいなと思います。

編集後記

編集委員

- 委員長 山中 美津子
- 委員 高田 節子
- 小林 寿幸
- 山本 正人
- 中西須美子

データでみる公民館

(R5は推定)

今年度は、令和元年の利用状況にほぼ戻ったと言えます。

公民館事業の参加者数	令和元年 1,565人	令和5年 1,596人
サークル等の参加者数	令和元年10,397人	令和5年 9,839人
総数	令和元年11,962人	令和5年11,435人

公民館利用者数の推移

(令和5年は3月までの予想)

